

テレワークについてのアンケート調査報告

(2020年7月)

コワーキングスペースを運営※する(株)まなればは、コロナ禍で働き方が大きく変わりつつある中テレワークの課題を明らかにし、働き方改革の促進と仕事の生産性向上の環境作りに活かす為にアンケート調査を実施致しました。

SNSのフォロワーを対象にインターネットを通じて実施し、163名から回答を得ました。以下、概要をご報告します。

※OBPアカデミア、ONthe UMEDA

■調査期間：2020年6月26日(金)～7月17日(金)

■回答者の割合：会社員約8割、フリーランス約1割、その他約1割

■調査ポイント

- ・自宅テレワークは通勤時間を減らし時間を有効に使えるが、インターネット環境と集中できる空間が必須。
- ・新しいアイデアを生み出し、テレワークによる閉塞感を打破するために偶発的コミュニケーションをとる工夫が必要。
- ・働き方の多様化により、ワークプレイスの環境整備が求められる。多数が緊急事態宣言解除もテレワークの継続を希望しており、社外で様々な人や情報に触れたいと回答。

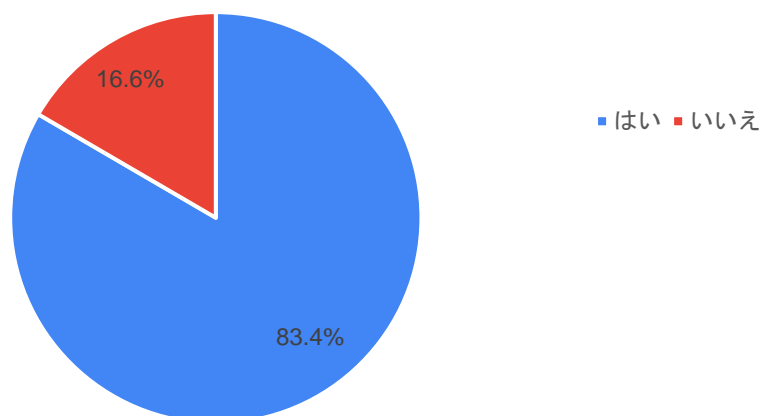
1.これまでテレワークを体験したことがありますか？

はいと回答（83.4%）、いいえと回答（16.6%）

コロナ禍の調査により、全体的に自宅でテレワークをした割合が多い回答となりました。今回の調査で、リモートワークが可能であること、逆にリモートワークでは難しい業務があることも顕在化し働き方を見直す動きも活発化しています。

急速に働き方の変革が求められ、強制的に社会全体にリモートワークが広められ、働き方の多様化が加速しています。

Q1.テレワークをこれまで体験したことはありますか？



2.テレワークをしたことがある（83.4%）と回答したうち、約

9割が今後もテレワークを継続したいという結果に。

テレワークをしていない（16.6%）のうち、多くが「状況に応じて働

く場所を自分で選びたい」と回答

i) 以下、Q2～Q10 まで「テレワークをした事がある」(83.4%) と回答した方にお伺いしました。

今回の調査では、テレワークで感じたメリットの上位2つが「移動時間が不要」54.4%、「自分のペースで働ける」33.8%となりました。

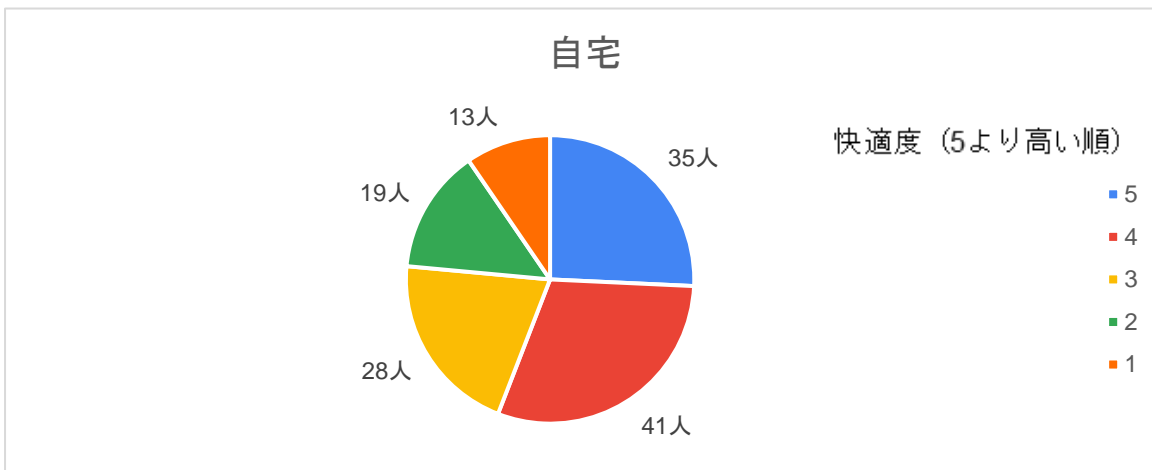
テレワークをする中で困ったことは、「仕事仲間や顧客とコミュニケーションがとりにくい」25%、「WEB 会議ができる場所の確保」19.4%があがりました。

テレワークをした事がある人のうち、91.1%が今後も継続したいと回答し、理想のテレワークの割合は「完全テレワーク（全く出社しない）」と「原則テレワークで、会議など必要な時だけ出社したい」が半数を占めました。

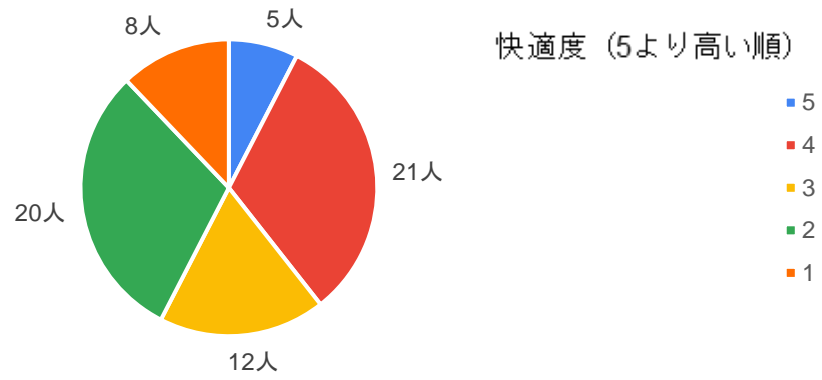
時間や場所の制約がなく柔軟な働き方を求める声が多いことがうかがえます。

アンケート回答から自宅でのテレワークは、通勤時間を減らし時間を有効活用できる事が最大のメリットと言えますが、一方で多くの方がインターネット環境や家族と生活する中での仕事に問題を感じています。

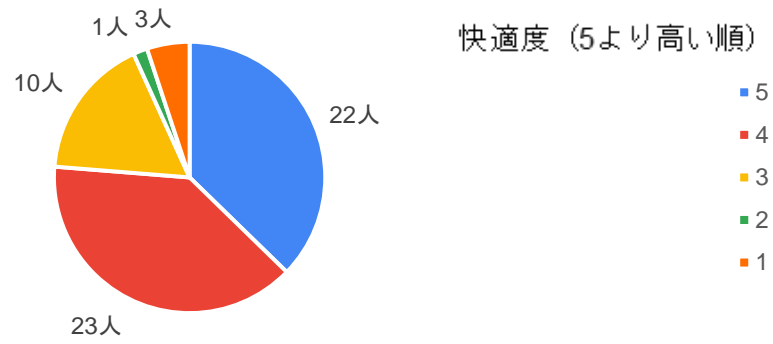
Q2.テレワークをしたことがある場所とそれぞれの快適度



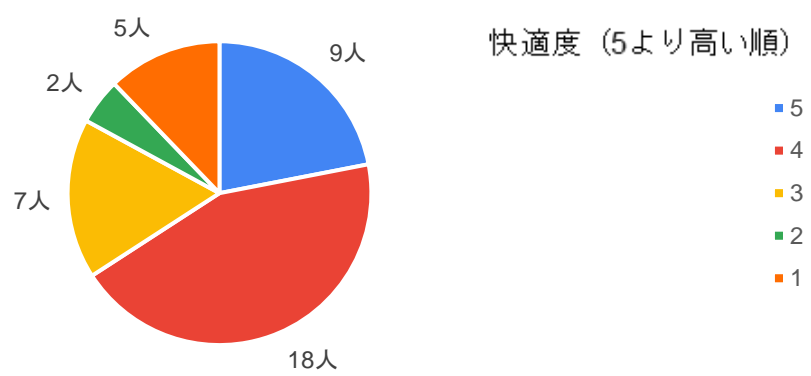
カフェ

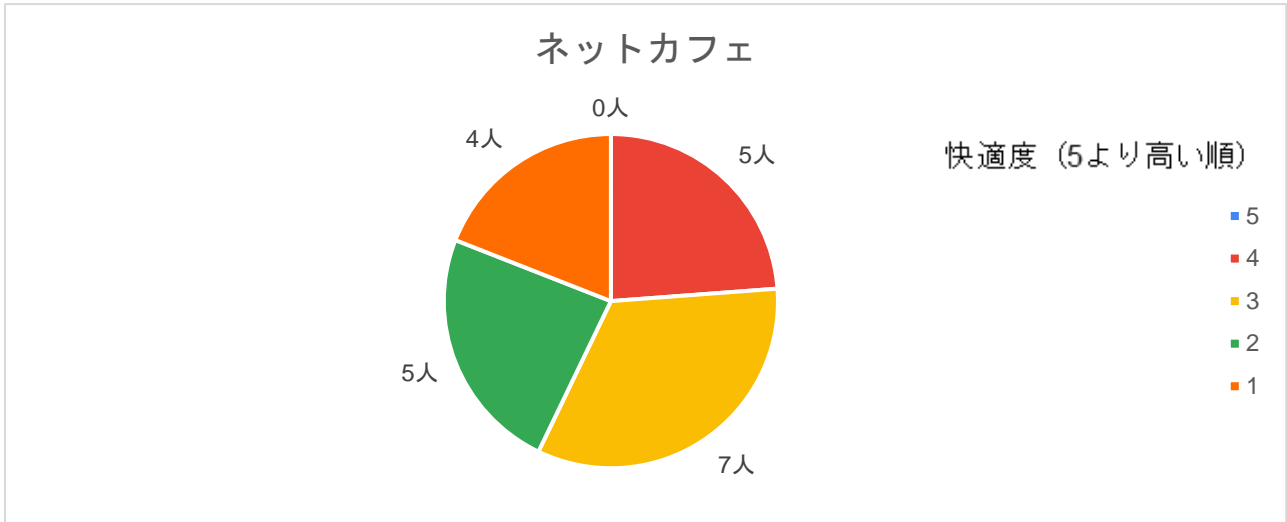


コワーキングスペース



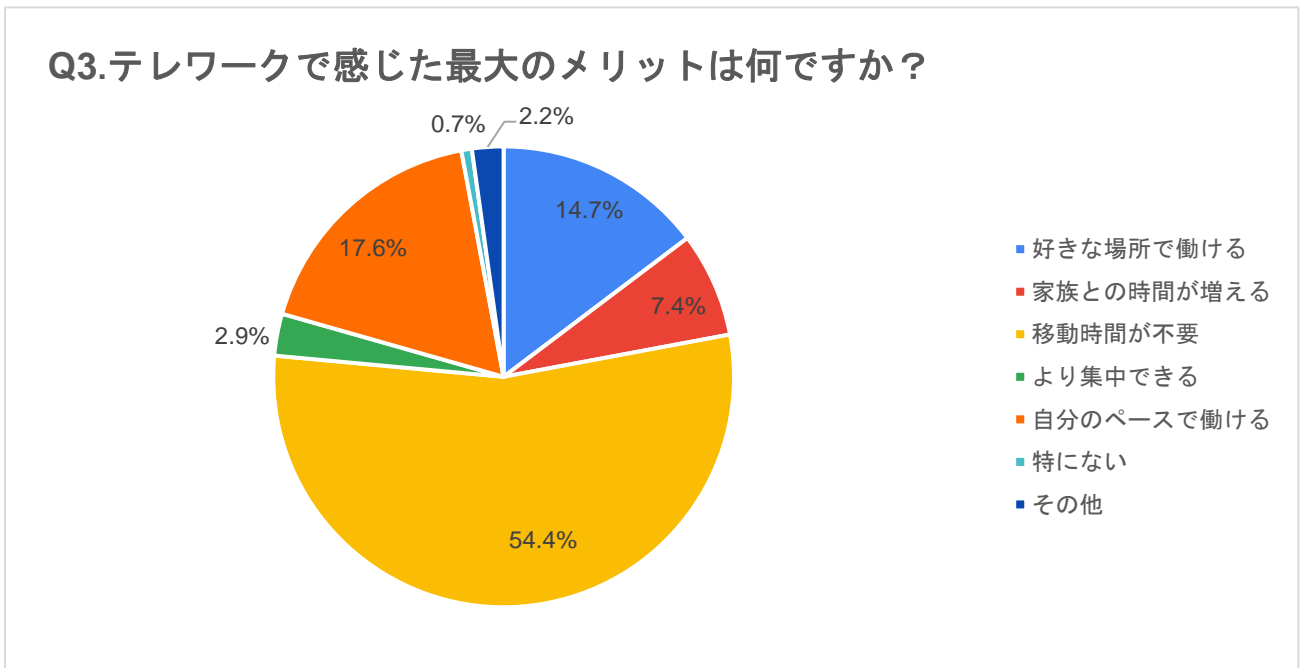
ホテル



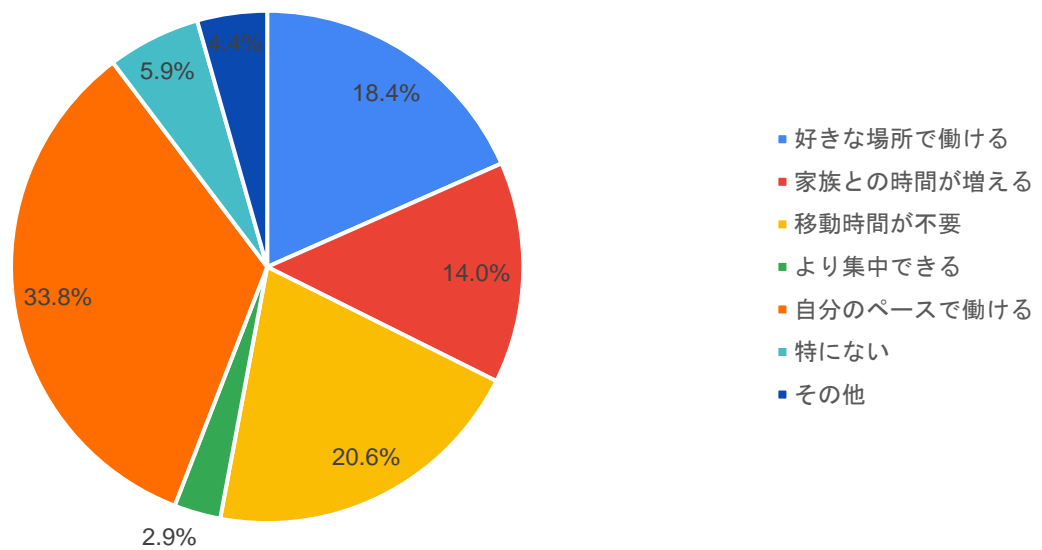


カフェの快適度が分かれたのに対し、コワーキングスペースの快適度は高い傾向になりました。カフェの快適度二極化は、場所によって長時間滞在が難しい事や WEB 会議ができないなどの理由が挙げられます。

Q3・4 テレワークで感じたメリット



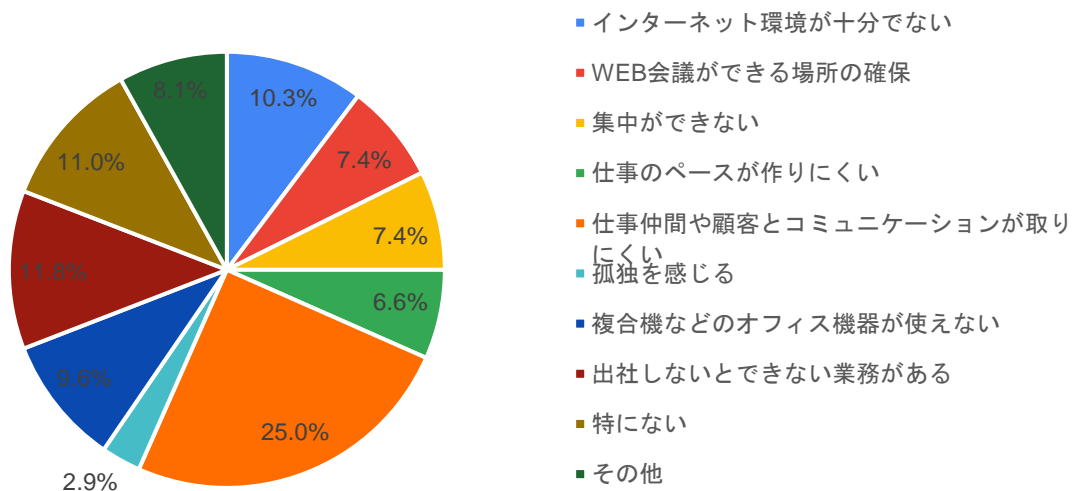
Q4.テレワークで感じた2番目のメリットは何ですか？



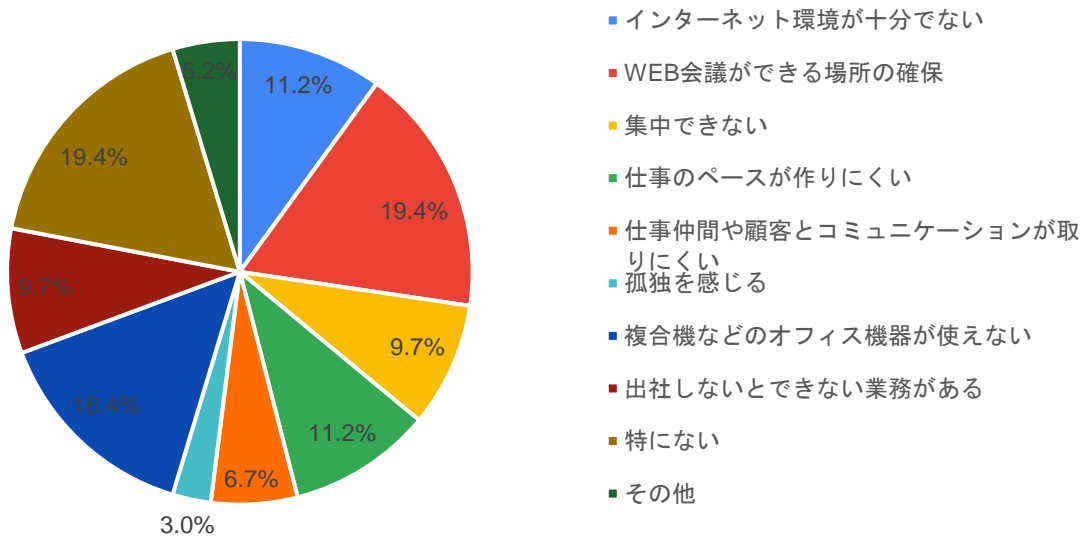
テレワークで感じた最大のメリットは「移動時間が不要」54.4%、2番目のメリットは「自分のペースで働ける」33.8%となりました。

Q5・6 テレワークで困ったこと

Q5.テレワークで一番困ったことは何ですか？

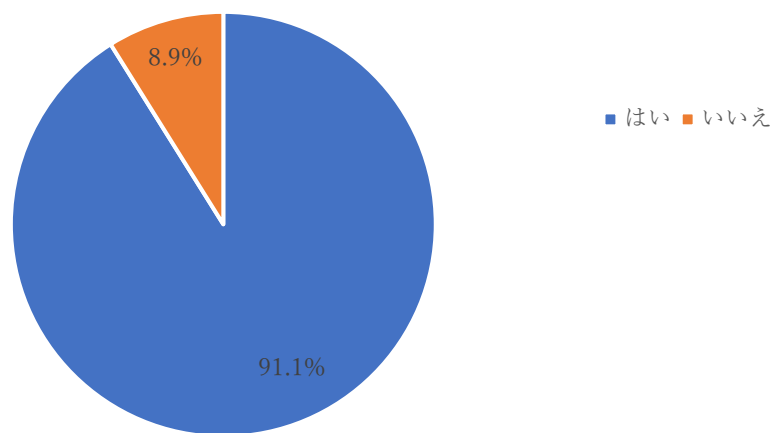


Q6.テレワークで感じた2番目に困ったことは何ですか？



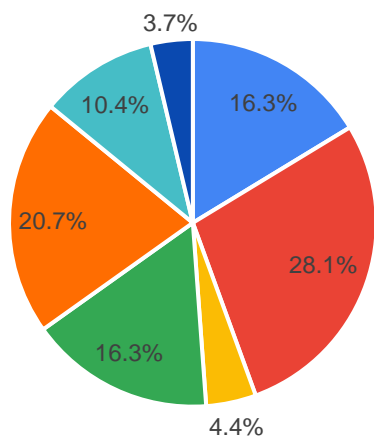
テレワークで1番困ったこと「仕事仲間や顧客とコミュニケーションがとりにくい」25%、2番目に困ったこと「WEB会議ができる場所の確保」19.4%となりました。

Q7.テレワークを続けたいと思いますか？



9割以上がテレワークを続けたいという結果になりました。

Q8.テレワークを継続した場合、テレワークの理想の割合はどれくらいですか？

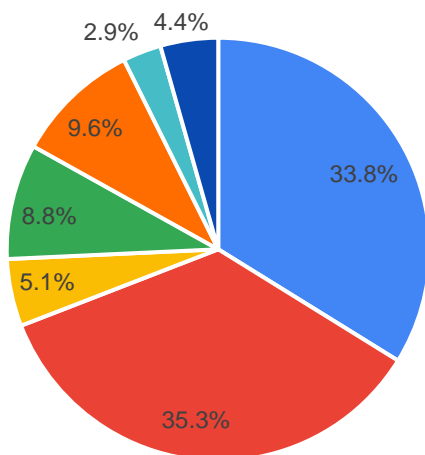


- 完全テレワーク（全く出社しない）
- 原則テレワークで、会議など必要な時だけ出社したい
- 週に4日テレワーク
- 週に3日テレワーク
- 週に2日テレワーク
- 週に1日テレワーク
- 午前出社、午後テレワークなど時間で分けたい

約半数がオフィスに出社せず、テレワークをする事を希望しています。時間や場所の制約がなく個々のライフスタイルに合わせた多様な働き方が求められています。

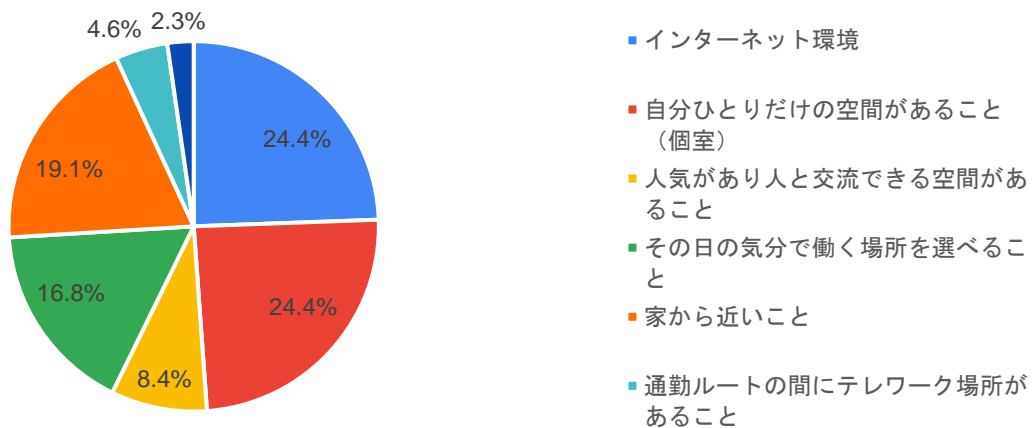
Q9、10.テレワークの環境で重視するもの

Q9.テレワークの環境で最も重視するものはなんですか？



- インターネット環境
- 自分ひとりだけの空間があること（個室）
- 人気があり人と交流できる空間があること
- その日の気分で働く場所を選べること
- 家から近いこと
- 通勤ルートの中にテレワーク場所があること
- その他

Q10.テレワークの環境で2番目に重視するものはなんですか？



「インターネット環境」と「自分ひとりだけの空間があること」が半数以上の割合を占めています。

(下記自由回答より抜粋)

▼インターネット環境

- ・回線が不安定な時があるので、太いインターネット回線が必須
- ・双方のネット環境が良好でないとWEB会議が成り立たない

▼自分ひとりだけの空間

- ・家に家族がいる中、特に子どもがいると集中力を維持するのが難しい
- ・WEB会議できる場所の確保と資料を広げる十分なスペースが必要

(その他)

- ・雑談や偶発的コミュニケーションから生まれる企画やアイデアをどう生み出すか
- ・自宅作業では閉塞感を感じ、自分を律するのが難しい
- ・仕事時間とプライベート時間の切り替えが難しい
- ・快適なネット回線が必要
- ・紙の資料をデータ化する必要がある

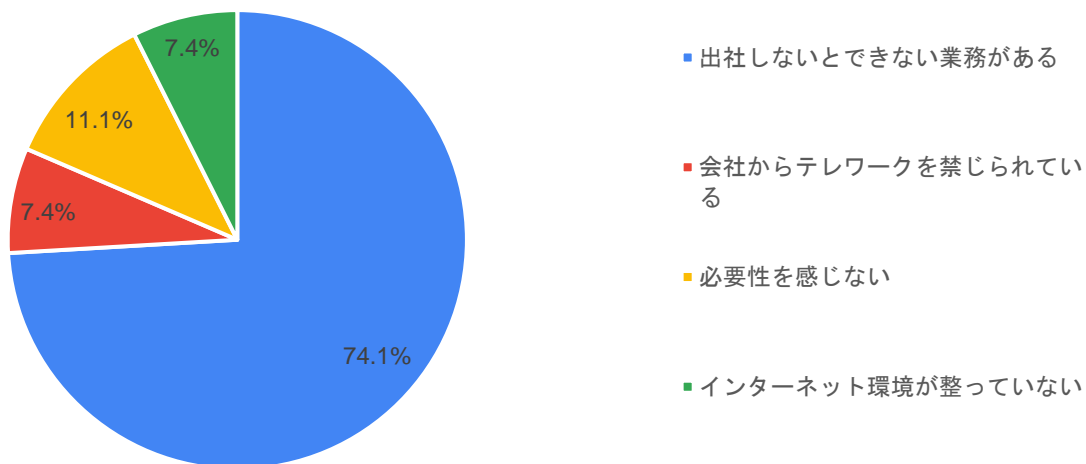
ii) 以下、Q11～Q19まで「テレワークをしたことがない」(16.6%)と回答した方にお伺

いしました。

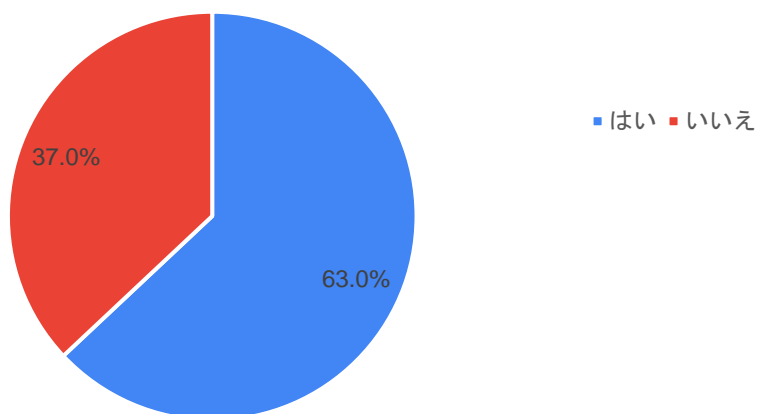
テレワークをしていない人の多くが、「出社しないとできない業務がある」と回答し「テレワークが不可能な業種なので無縁」や「紙の資料で仕事をしているため、自宅だと仕事ができない」といった意見が挙げられました。

テレワーク未経験者の半数以上がテレワークをしてみたいと回答し、その理由は「状況に応じて働く場所を自分で選びたい」58.8%、「通勤時間を減らしたい」「自分の好きな時間に働きたい」23.5%上位を占めました。

Q11.テレワークをしない（できない）理由はなんですか？



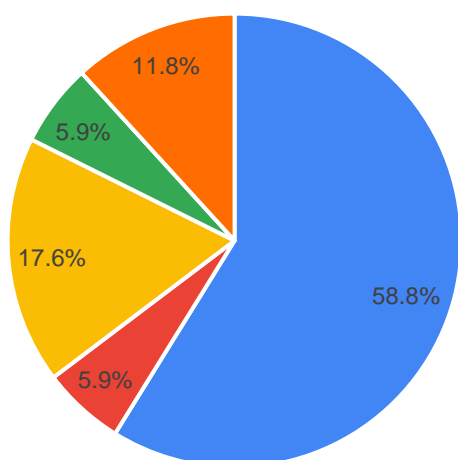
Q12.テレワークをしてみたいと思いますか？



「テレワークをしていない」と回答したうち半数以上がテレワークをしてみたいと回答しました。

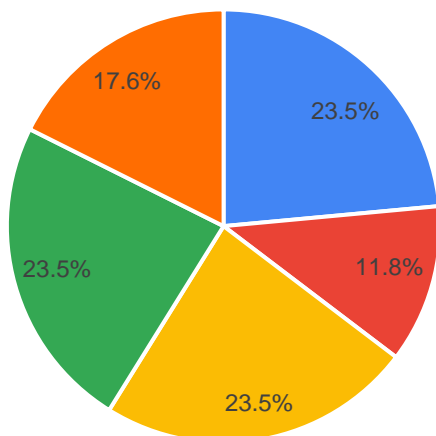
Q13、14 テレワークをしたい理由

Q13.テレワークをしたい最大の理由はなんですか？



- 状況に応じて働く場所を自分で選びたい
- 家族との時間を増やしたい
- 通勤時間を減らしたい
- 自分の好きな時間に働きたい
- 今までの就労スタイルで出会えない、人や情報に触れたい

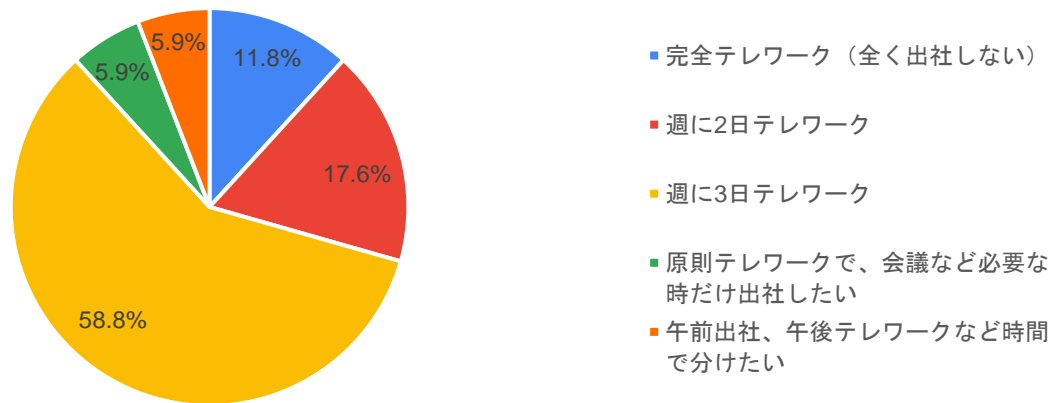
Q14.テレワークをしたい2番目の理由はなんですか？



- 状況に応じて働く場所を自分で選びたい
- 家族との時間を増やしたい
- 通勤時間を減らしたい
- 自分の好きな時間に働きたい
- 今までの就労スタイルで出会えない、人や情報に触れたい

テレワークをしてみたい最大の理由が、「状況に応じて働く場所を自分で選びたい」(58.8%)、テレワークをしたい2番目の理由は「自分の好きな時間に働きたい」「通勤時間を減らしたい」(23.5%)と回答しています。

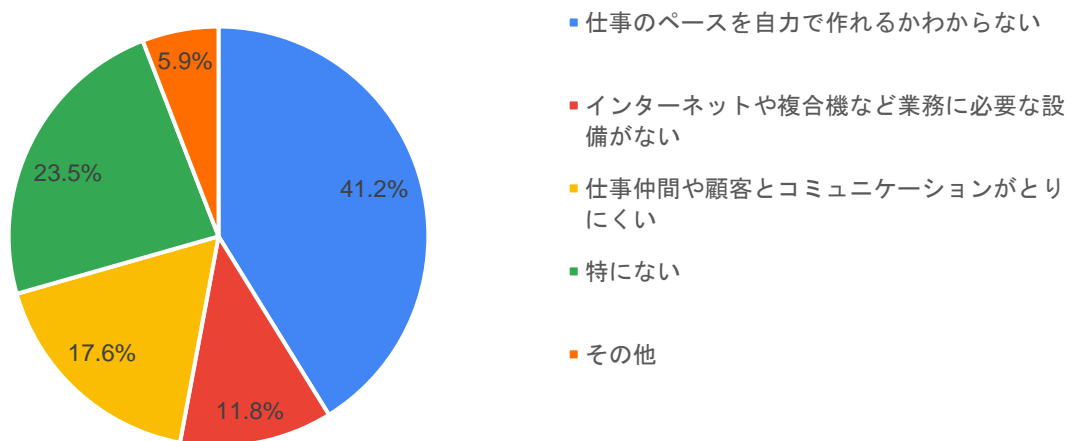
Q15.テレワークをした場合、テレワークの理想の割合はどれくらいですか？



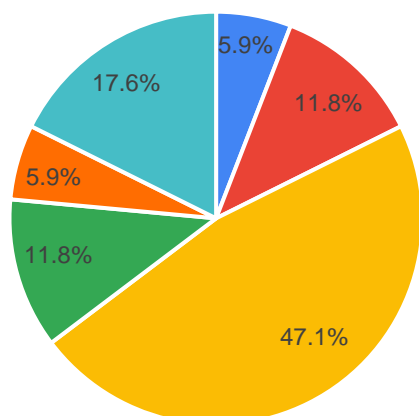
テレワーク未経験者が理想とする業務全体におけるテレワークの割合は、テレワークをしたと回答した方より少ない結果となりました。

Q16・17 テレワークをする上での不安

Q16.テレワークをする上での最大の不安はなんですか？



Q17.テレワークをする上での2番目の不安はなんですか？

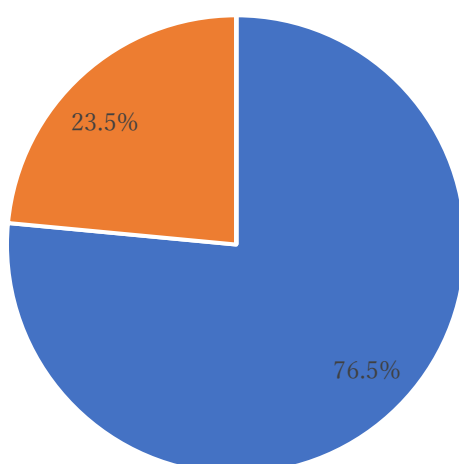


- 仕事のペースを自力で作れるかわからない
- インターネットや複合機など業務に必要な設備がない
- テレワークにかかるコストを自分で負担しなくてはならない(通信費、光熱費、カフェ代など)
- 仕事仲間や顧客とコミュニケーションがとりにくい
- 孤独を感じる
- 特にない

テレワークをする上で最大の不安は「仕事のペースを自分で作れるかわからない」41.2%、2番目の不安は「テレワークにかかるコストを自分で負担しなくてはならない(通信費、光熱費、カフェ代など)」47.1%。

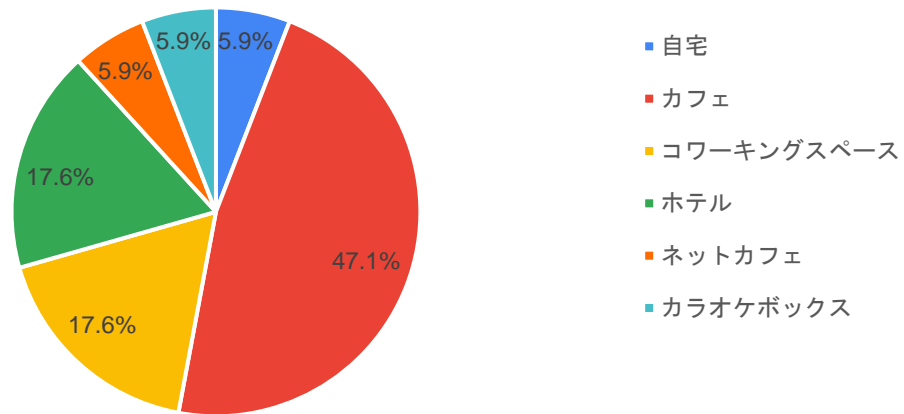
Q18・19 テレワークに利用したい場所

Q18.テレワークに1番目に使用したい場所はどこですか？



- 自宅
- カフェ
- コワーキングスペース
- ホテル
- ネットカフェ
- カラオケボックス

Q19.テレワークに2番目に使用したい場所はどこですか？



テレワーク未経験者が、テレワークに最も利用してみたい場所は「自宅」76.5%、2番目は「カフェ」47.1%となりました。

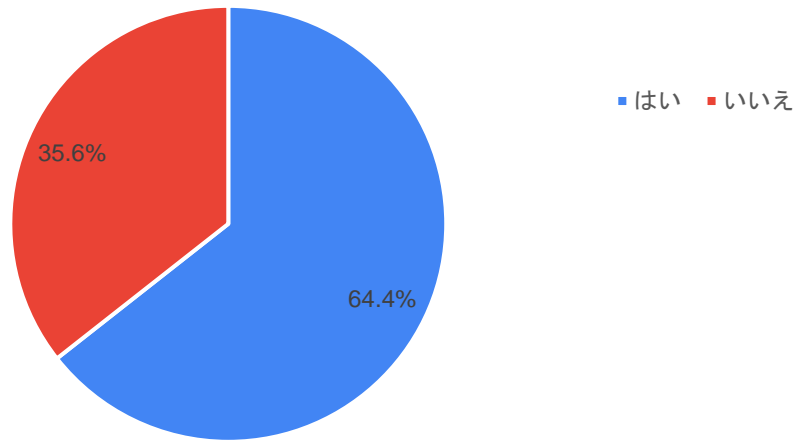
3.コワーキングスペースの認知度

以下、アンケート回答者全員にコワーキングスペースの利用についてお伺いしました。

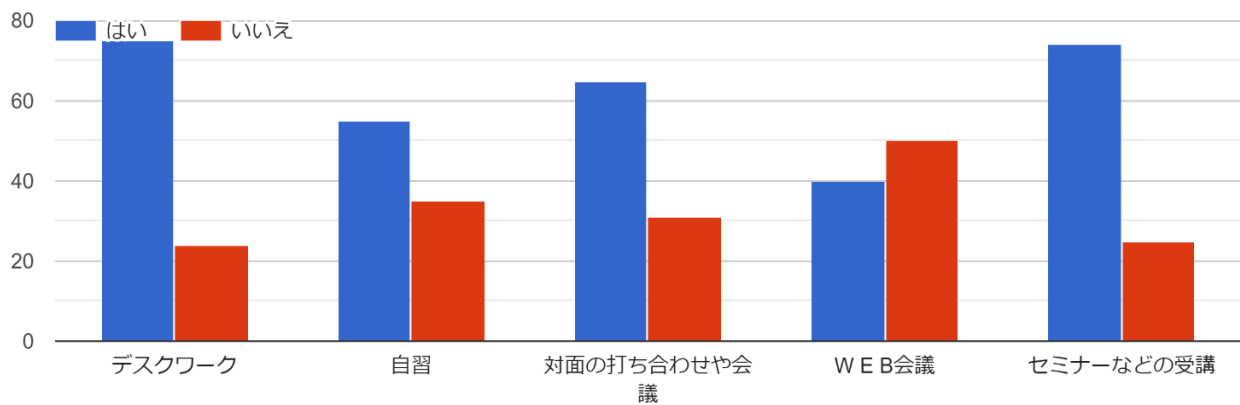
コワーキングスペースを利用しない理由に「どんなところか知らない」41.1%と回答した方が多く、ワークプレイスとしてコワーキングスペースが普及してきましたが、まだ認知が浸透していないという点もアンケートから明らかになりました。

「どんなところか知らない」が41.1%となり、「インターネットや複合機など業務に必要な設備がない」といった回答がありました。コワーキングスペースではフリーWi-Fiや複合機があり、フリードリンクで仕事のメリハリをつけながらパソコン1つでオフィスとして仕事ができます。

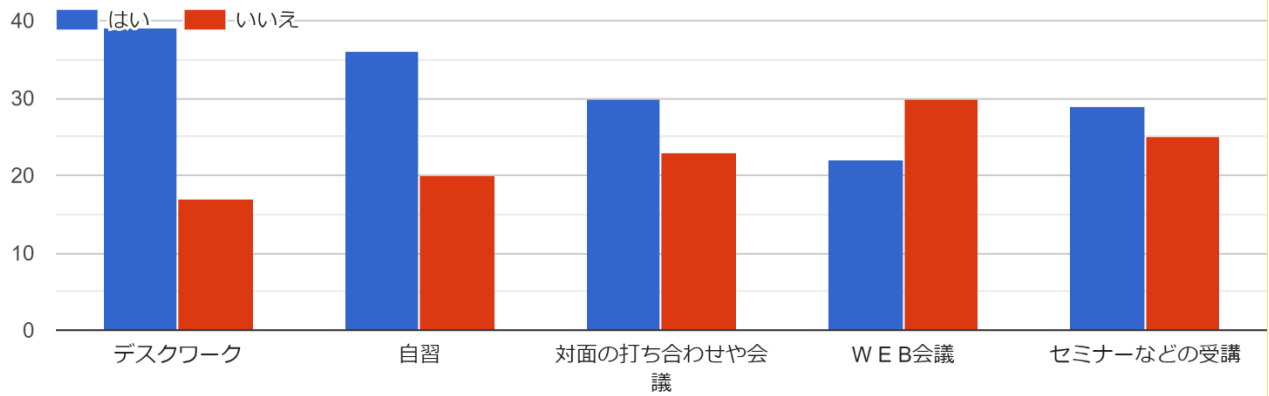
Q20.公私を問わず今まで coworking space を利用した事がありますか？



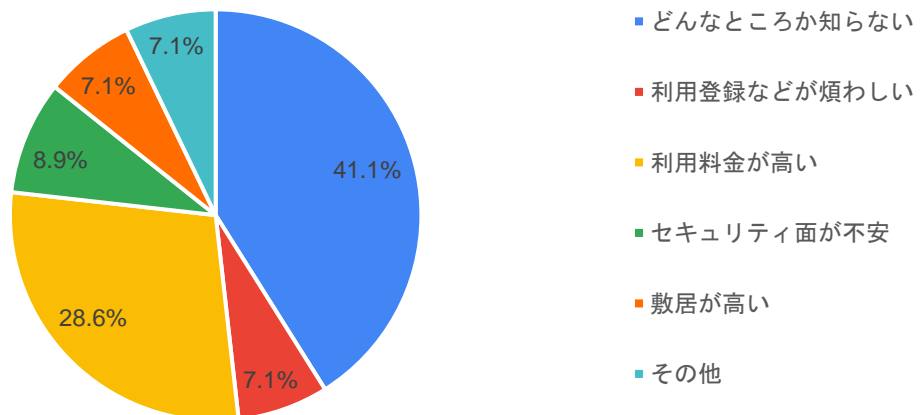
Q21.以下の目的で coworking space を利用したことがありますか？



Q22.以下の目的で coworking space を利用してみたいと思いますか？



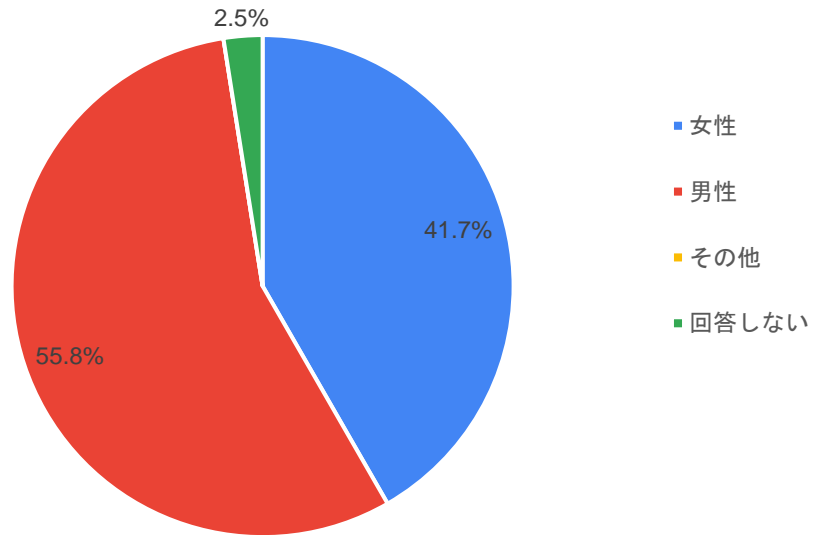
Q23. coworking space を利用しない最大の理由はなんですか？



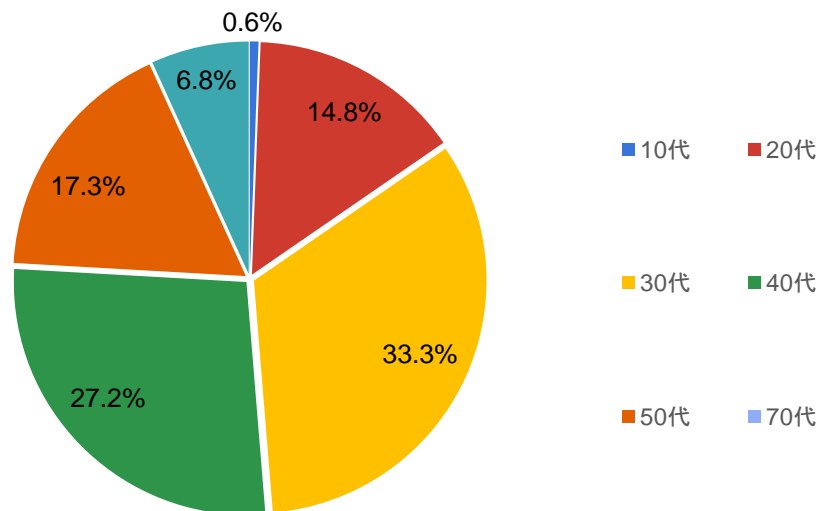
他にも電源、印刷機、電話用ブース、会議室など一通りの設備が揃っており、オフィスのように働く事ができます。在宅ワークでかかるコストの光熱費、通信費、カフェ代を削減できる事もできます。

回答者の属性割合

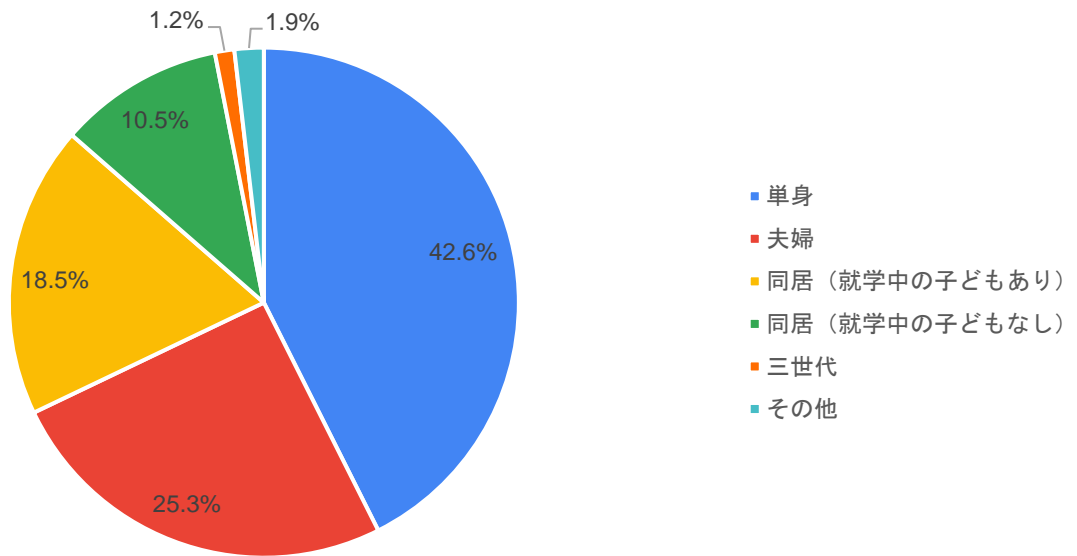
性別



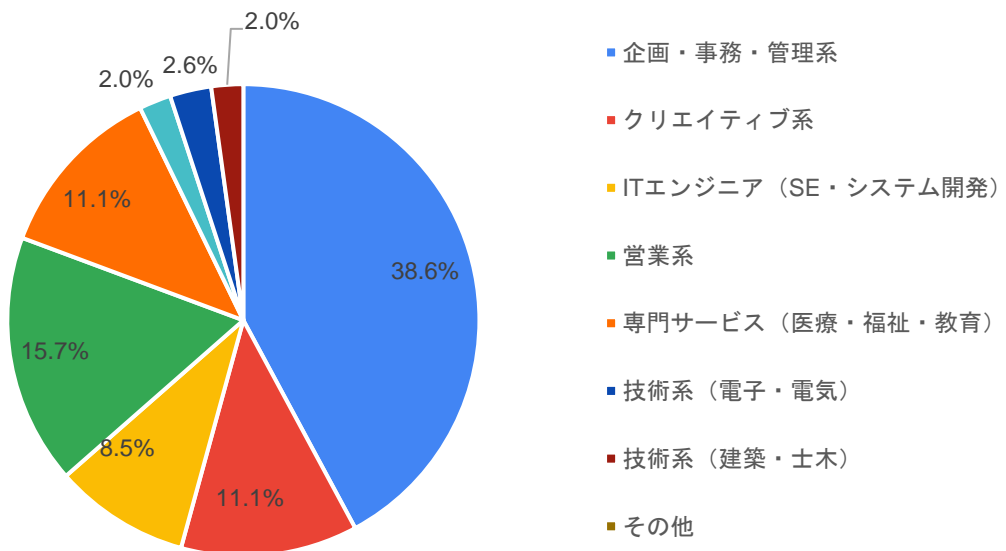
年代



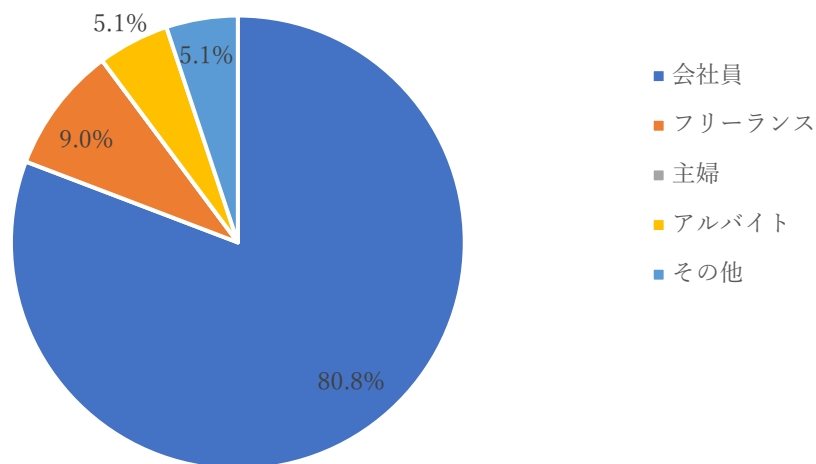
家族構成



職種



職業



まとめ

これからの働き方とコワーキングスペースが担う役割

コロナ禍で急速に働き方の変革が求められ、働き方の多様化は加速しています。アンケートを通して、時間や場所の制約がなく柔軟な働き方を求める声が多く、個々人のライフスタイルや業務内容に合わせて効率化を最大限にする必要性を感じます。それに伴い、働き方が多様化しオンライン会議も増える中で個人スペースの確保などワークプレイスも変化に応じて環境整備をしていく事が求められています。

「緊急事態宣言解除に伴い、テレワークが終了した」「通常出勤に戻った」「テレワークは女性には良い働き方」「出産・育児・介護など、ライフスタイルに合わせて働ける」という意見から、コロナ禍では元の働き方に戻るのではなく、これまでの働き方を見直し、本当に必要なものや新しい働き方を模索するチャンスでもあります。

企業としてもリモートワークが定着する事で、広大なオフィスが不要になり、オフィスの縮小や統合によって賃料の削減などさまざまなコスト削減が見込めます。
ワーカーにとっても職住近接で「働く時間や場所の制約がなく個々のライフスタイルに合わせた多様な働き方」が実現できます。

アンケート上で、「仕事仲間や顧客とコミュニケーションが取りにくい」という問題がありましたが、コワーキングスペースでは、仕事仲間が集まる場所を確保しコミュニケーションを促進する事ができます。利用者同士で新たな出会いや創造を見つけることも可能になり、業種の異なる利用者が交流する場として、企業はもちろんフリーランスや副業をする社会人の新たな繋がりが生まれることが期待されます。

このように、コワーキングスペースは人材交流の場としても活用でき、テレワークでコミュニケーションをとる事における問題点を解決することができます。

テレワークが進み、より一層コミュニケーションの大切さが求められている中、コワーキングスペースは今後も新たな働き方の一助になると考えています。

当社は、今後も働く人々が快適なテレワークを実践できるよう働きやすい環境を作り、新しい働き方に貢献してまいります。